

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
子ども第一。みんな笑顔の温かい学校。 ～チーム北山田で実現！！～	
○ 「北山田の子どもは全職員で指導する」	児童支援専任を中心とするチームによる一人ひとりの心に寄り添った指導の充実を図ります。
○ 「授業で勝負」	ICTの積極的な活用、授業研究会の充実を通して授業力を向上させ、楽しく魅力ある授業を目指します。
○ 「全職員で人材育成」	職員のキャリアステージに合わせたOJTを進め、教職員の力量をアップさせます。
○ 「『のりしろ』を出し合える教職員集団」	教職員一人ひとりが学校をよりよくしようと協働できる組織を作ります。
○ 「地域の中の学校」	地域の教育力や外部の人材を活用すると共に、地域行事への子どもの参加を推奨し、地域の中の学校を目指します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	よりよい人間関係を築いていこうとする姿を価値付けするとともに、子どもの自尊感情を高め、自分を大切にする心と相手を思いやる心を育てる。	① 子どもの実態をもとに、「私たちの道徳」などの教材を活用し、全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。 指針1 「道徳の時間」の充実
		② フレンドチーム（異年齢集団）の活動を充実させ、学級集団だけでなく子ども同士のつながりを築くことができるようにする。 ③ 児童会の提案によるあいさつ運動を実施して、自ら進んであいさつする意識の向上に取り組む。 指針2 体験活動の充実
担当	総務部 指導部	④ 定期的にY-P アセスメントを実施し、安心して過ごせる学級風土の中で、他を思いやる気持ちを育てながら自尊感情を養う。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成 ⑤ 外部講師の招へいし、「本物にふれる授業」の機会を数多く設ける。 指針4 豊かな感性や情操の育成

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

どの子どもも落ち着いて生活することができている。朝食はしっかり食べ、学習の持ち物がそろえられるなど、基本的な生活習慣は身につけている児童が多い。しかし、人と違う発言や行動をとることを避けるなど、自由に伸び伸びと自己表現することができない児童も多い。また、学級では、真面目に物事に取り組む児童でも自己評価が低いなど、自分に自信がもてず、自尊感情が低い子どもも多い。豊かな人間関係づくりのために、自尊感情やコミュニケーション能力、自己表現力を高め、互いの違いを様々な場面で認め合う場面が必要である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「私たちの道徳」を積極的に活用する。
- ・学習指導の工夫を基本的な学習指導過程、中心発問の工夫、資料の保存、活用で学習指導の工夫を図る。 【視点1】

指針2 体験活動の充実

- ・フレンドチーム（異年齢集団）の活動（1年生を迎える会、交歓給食：年間3回、全校オリエンテーリング、全校遠足、6年生ありがとう集会）を充実させ、学級集団だけでない子ども同士のつながりを築くことができるようにする。 【視点3】【視点7】
- ・児童会の提案によるあいさつ運動を実施して、自ら進んであいさつする意識の向上に取り組む。 【視点4】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・年間2回：6月、12月にY-P アセスメントを実施すること、適宜、指導プログラムを行うことで安心して過ごせる学級風土の中で、他を思いやる気持ちを育てながら自尊感情を養う。 【視点7】

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・国語科、社会科、音楽科、体育科、総合的な学習の時間を中心に、外部講師の招へいし、「本物にふれる授業」の機会を数多く設ける。 【視点4】